授業科目名	企業経営史Ａ	大学名	作新学院大学
科目区分	ＶＵ連携講座	開講時期	前期（4 月 11 日～8 月 2 日）
学部・学科等	経営学部・経営学科	曜日	月曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	4 時限目　14：40～16：10
標準対象年次	２～４年	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	学内講義室
担当教員名	那須野公人		
電話番号（代表者名）	028-667-7111 （作新学院大学）	e-mail アドレス	knasuno@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		

授業の概要

＜授業の目標及びねらい＞

経営史とは、いわば企業の歴史・企業経営の歴史のことである。本講では、企業経営の歴史的発展過程の分析のみならず、それらを通じて将来の経営環境の変化を予測し、それに対応できるような眼を養う。

＜前提とする知識・経験＞

特に必要としないが、授業計画欄のキーワードにもとづき、テキストの索引やインターネット検索を活用し、予備知識を持って授業に参加すること。ネット検索上の注意点等については、第 1 週の授業の際説明する予定である。

＜授業の具体的な進め方＞

本講では、まず経営史という学問の歴史とその重要性、さらには経営史研究の現状について解説した後、資本主義的経営形態の一般的な発展過程についてみていく。その後、イギリス産業革命期における企業経営の特質を、資金調達と企業形態、労働者の創出と労働力の錬成、経営者・管理者の状況等の側面から検討することにしたい。

講義はプレゼンテーションソフトと配布資料を活用して行う。

また、授業の冒頭、前回授業の復習の程度を確認する意味で、学生に発言を求める。復習に努めること。

＜授業計画＞

第 1 週　経営史とは何か、経営史教育の必要性
第 2 週　経営史の特質、経営史と経済史、経営学と経営史
第 3 週　経営史学の方法（ビジネス・ヒストリー）
第 4 週　経営史学の方法（経済主体の問題と企業者史）
第 5 週　経営史学の方法（企業者史研究の意味、企業者史に対する批判）
第 6 週　チャンドラーの経営史
第 7 週　資本主義的経営形態の展開①（小営業、問屋制経営）
第 8 週　資本主義的経営形態の展開②（マニュファクチュア経営、工場経営）
第 9 週　資本主義的経営形態の展開③（統合経営）
第 10 週　資本主義的経営形態の展開④（オープン・ネットワーク経営）
第 11 週　イギリス産業革命期の企業経営①（産業革命と産業革命史研究）
第 12 週　イギリス産業革命期の企業経営②（工場制度の成立と管理問題の発生）
第 13 週　イギリス産業革命期の企業経営③（資金調達と企業形態）
第 14 週　イギリス産業革命期の企業経営④（労働者の創出と労働力の錬成）
第 15 週　イギリス産業革命期の企業経営⑤（経営者・管理者の不足と経営能力の欠如）
定期試験

＜教科書・参考書・教材と入手方法＞

佐久間信夫他編『増補版 現代経営用語の基礎知識』学文社（学内で販売）

＜成績評価法＞

定期試験の成績に、毎回提出する「今日の授業のまとめ」（授業の要約・意見・感想・質問等を書いたもの）の評価を加味して、最終的な成績を決定する。

＜教員からのメッセージ＞

意欲的な学生の受講を希望します。